

お答えします。

高校生による絵ですが、こちらについては、確認しましたら広島平和記念資料館のほうに貸し出し、もしくはデータで提供いただくということができるとありました。ですので、例えば借りるなり、データを頂くなりして展示することは可能と思っております。

また、学校のほうに巡回というようなご意見はいただいておりますが、そちらについては先ほど市長答弁もさせていただいたように、学校のスケジュールだったり、あるいは、また感受性の強い子供さんもいるという学校のいろんな条件もありますので、そこについては教育委員会のほうと調整は必要かと思いますが、市で行うものにつきましても、また協議はしてまいりますけれども、前向きに検討してまいりたいと思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

松田議員。

○2番（松田徳彦君）

ぜひですね、前向きというお話もいただきましたので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

それで、今もお話ありましたけれども、写真パネルはさすがに悲惨な場面についてもあります。ですから、そういう点で言えば、学校にもし掲示するとすれば、高校生の絵のほうがかぶさわしいような気もいたしております。そこら辺も含めまして、協議・検討をぜひ進めていただきたいと思います。よろしくお願ひいたします。

これにて質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（古畑浩一君）

以上で、松田議員の質問が終わりました。

13時まで休憩といたします。

〈午前11時59分 休憩〉

〈午後1時00分 開議〉

○議長（古畑浩一君）

休憩を解き、会議を再開いたします。

次に、関原奈津美議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

関原議員。〔5番 関原奈津美君登壇〕

○5番（関原奈津美君）

みらい創造クラブの関原奈津美でございます。

発言通告書に基づき、1回目の質問をさせていただきます。

1、久保田市長が市民へ掲げた公約について。

(1) 公約に掲げた駅北子育て支援複合施設の見直しについてのお考えを伺います。

① 予定地の解体工事と建設について伺います。

② 「駅北にふさわしい充実した施設について再検討」と公約に掲げた具体的な構想について伺います。

③ 駅北大火からの復興で目指した「にぎわいの拠点施設」の完成形として、この施設が議論されてきた経緯と、「行政の継続性」を市長はどのように捉えているか、お考えを伺います。

(2) まちづくりの新しい概念「縮充」について具体的なお考えを伺います。

① 縮小の具体的な内容について伺います。

② 充実の具体的な内容について伺います。

(3) 市長が目指す「対話」とは具体的に市長がどのように市民と向き合っていくことかを伺います。

2、農業の課題について。

(1) 米価高騰による国の動向を、糸魚川市の農業従事者を守るという観点からどのように捉えているか、市長のお考えを伺います。

(2) 農業を核にした交流事業を展開している事例が市内にもありますが、農業の担い手育成という観点から、このような取組を糸魚川市として推進するお考えがあるか伺います。

以上、1回目の質問を終わります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

関原議員のご質問にお答えいたします。

1番目の1点目の1つ目につきましては、現計画での建物建設は中止します。

今後、計画地の利活用案を検討してまいります。旧宮田ビルは老朽化により早期に解体する必要があると考えており、計画地に近いことから、解体後の土地利用も含めて検討してまいります。

2つ目につきましては、駅北大火からの復興や中心地におけるにぎわいづくり、都市機能の充実などのこれまでの経過や目的を踏まえ、改めて汎用性を持たせた代替案を検討したいものであり、具体案がまとまりましたらお示しいたします。

3つ目につきましては、これまでの経過も尊重する中で、駅北まちづくり戦略に示された、「複数分散型のまちづくり」、「子育て支援を中心とした機能」を踏まえながら、計画地の新たな利活用案を検討するものであります。

2点目につきましては、人口減少・少子高齢化による縮小という現実をしっかりと受け止める中で、既存の事業の評価を行い、市民生活に必要な事業については充実を図る必要があると考えております。

3点目につきましては、私自身、地域の代表者や、各地域に入って、市民の皆様と懇談してまいります。

2番目の1点目につきましては、生産者の意欲につながる取組が必要と考えております。

2点目につきましては、引き続き、市内の就農につながる取組を進めてまいります。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては所管の部・課長からの答弁もありますので、よろしくお願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

関原議員。

○5番（関原奈津美君）

では、大きな1番の（1）子育て支援複合施設の見直しについて再質問いたします。

市長は6月の2日の定例会見で、東北電力ビルと併せて宮田ビルの解体も追加で行い、まずは解体を優先事項とするとし、会見の新聞報道によると、2024年度の市議会との審議で同時解体を促す意見があったとしています。

旧東北電力ビルの解体入札が5回にわたり不調に終わったままになっている中、旧宮田ビルは老朽化による早期の解体が必要だと判断するなら、なぜ今年度の当初予算に入れず、年度初めの6月補正予算で計上したのかをお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

議員おっしゃるとおり、昨年度、東北電力ビルの解体入札につきましては5回実施いたしまして、不調という結果に終わっております。今後、解体を進めていくに当たり、庁舎内部でも検討をさせていただきました。そういったことと併せて検討する中で、宮田ビルにつきましても老朽化が進んでいる状況を何とかしなければならないといったところがございまして、時期としては、新年度に入ってしまうような形になりましたが、市の方向性として、そういったものが定まり、今回、補正予算に提案させていただいたというものでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

関原議員。

○5番（関原奈津美君）

宮田ビルを一体的に解体するとしたのは、久保田市長の判断ということでよろしいですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

先ほど私、答弁したような形で庁舎内で検討を進めてきた部分を久保田市長のほうにもご説明いたしまして、このようなご提案とさせていただいているといったものでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

関原議員。

○5番（関原奈津美君）

現計画での建設を中止するなら、解体も一旦見送るという判断はなかったのでしょうか。今回の計画を中止した場合、業者への違約金は、公金を使ってお支払いするのですか。

補正予算の審議はこれからですが、初日の全員協議会でも、唐突だとする議員側の意見はどのように受け止めていますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

国のほうに申請をしております計画の期間が、今、令和9年度までといったような形で、予定となっております。その間までに建物の解体を終わらせて、新たに施設整備といったところを考えた場合に、やはり解体というのを早めに進めていかなければいけない状況、そういったところもございまして、このような形での時期での提案となっております。

また、解約に当たっての事業者の違約金等の支出の方法については、またその違約金自体があるかないかといったところも含めて、今後の協議事項になってまいりますので、そういったことを踏まえながら検討させていただくことになると思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

関原議員。

○5番（関原奈津美君）

解体に必要な予算の国・県の支出金、地方債は、解体工事のみに使えるものではないという答弁がありました。予定地で使われている財源は、その後の計画があつての財源だと思います。全員協議会に示された資料によると、国の補助事業の継続のため、建設予定地の早急な利活用案を検討するとあります。建設予定地には、現計画を中止しても、別の何かを建設されるということですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

これまでの一般質問の中でも答弁させていただいておりますように、現計画地につきましては、今までの計画での、DBOでの建物の建設は中止をいたしますが、別な形での汎用性のある利活用案というものを、今後検討してまいります。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

関原議員。

○5番（関原奈津美君）

現計画での建設中止の市長の意向は、国や県に伝えてあるのかお聞かせください。

また、その有無にかかわらず、国や県には、いつ、どのように説明するかをお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

県のほうとは、ないないに協議はさせていただいております。国のほうには、これまでもお示ししておりますとおり、令和7年12月までに計画変更を申請する中で、そちらの部分のご説明はしていきたいというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

関原議員。

○5番（関原奈津美君）

平成27年3月に子ども・子育て支援事業計画で、屋内遊戯施設整備が計画され、大火から復興まちづくりの中で、にぎわいの拠点の施設として約10年、市議会や市民会議、パブリックコメントなどで様々議論してきた経過があったこと、建設を望む声、賛成意見があったことを十分に理解されていますか。

また、市長はこの経過をどのように捉えていますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

お答えします。

まず、建設計画の見直しという部分について言えば、私自身が4月24日以降の考え方を担当課、行政サイドにお伝えして、物理的な時間が非常に短かったということがあって、唐突だというお考えを持った方が多くいたということは、きちっとそれについてはおわびをしながら、進行について、またご理解を深めていただけるように説明いたすということにしてあります。

もう一つは、一つの考え方4点、私、お示ししましたが、それを具現化するという部分については、まず変化する時世、いろんなものがあると思いますね。空き家といいますか、空き施設が増えてきたとか、また、少子高齢化であるとか、いろんなものが刻々と変化する中で、4点の中に組み込めるような汎用ある整備計画を行いたいという気持ちを持って、今後の整備計画について再

検討をしていきたいということでお伝えをしているところであります。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

関原議員。

○5番（関原奈津美君）

公約の中で、維持管理の年間5,000万円に対し、年間利用者数を想定した割り算が示されていますが、この割り算を市民に示した根拠はどのようなことかをお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

お答えします。

当時、私がその数字を見たのは、令和5年に発表されたものの中から、私自身がその数字を基に、いわゆる試算したものでございますので、その深い中身については計り知れない部分があったので、単純な計算として、そういう数字を出したということでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

関原議員。

○5番（関原奈津美君）

1日目の保坂議員の質問に、子育て支援をオペレーションに携わる人はいると答弁されていましたが、市長はどのような人材を指しているとおっしゃっていますでしょうか。

また、糸魚川市の子育て支援に携わる人材は、現在、市内で携わっている人間で十分とお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

お答えいたします。

現計画におけるスタッフ、オペレーションの仕方については、いろんなオペレーションの仕方がまだまだ先が見えておらない部分もありました。ただ実際に、ゼロ歳からという部分のスタート地点のスタートアップする際に、現時点で糸魚川で携わる、例えば産後ケアの方々、そして、糸魚川総合病院にもある産後ケア、そして、またいろんなひきこもりだとか不登校に携わる方々がいらっしゃいます。それとまた、主任児童委員という方々の存在も理解をしております。さらにいうことであれば、これから幼稚園の民営化というものがもう既に始まりつつありますので、そのオペレーションの方々が、いわゆる事業費、オペレーション費用も一体感を持って一元化していく方向も見えるのではないかとということも踏まえて、その事業費の件については、一つの見通しを持ったということでご理解をしていただきたいと思います。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

関原議員。

○5番（関原奈津美君）

再度、質問させていただきます。

糸魚川市の子育て支援に携わる人材は、現在の携わっている人材で十分とお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

お答えします。

十分とは考えておりません。まだまだ子育て支援施設のみならず、やっぱり幼稚園、保育園、そして小学校においても、やっぱり専門的な知見を持ってる方、専門職の方が不足しているという部分は、非常に重い部分で受け止めております。そういう部分の、やっぱり整備、それと人材活用、そして人材の登用、採用等を含めていくことであれば、相当やっぱり厳しい状態であるということが見込まれます。そういう中において、その全体的なバランスを取って、人材活用していく、採用計画を立てていく、また、その採用に関わる人材がどこにいらっしゃるのか、そういうことも含めて、トータルして考える必要があると感じております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

関原議員。

○5番（関原奈津美君）

子育ての質を高めるため、子育てに携わる人の報酬を今より高めることや、市外から子育てに有能な人材を登用するなど、財源を投入していくお考えはありますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

特に保育人材等につきましても、国のほうでは、数年前からやはりそういった部分の賃金改善とかというところで、国のほうでも動きがありまして、市内においても会計年度任用職員等ですね、そういった部分の改善等も行ってきているところがございます。やはり人材不足というのは当市だけではなくて、全国的に起きている状況だと思っております。なかなか確保というのは、厳しい状況にはあるとは思っておりますが、今後もしっかり人材が確保できるように努めてまいりたいと考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

関原議員。

○5番（関原奈津美君）

駅北にふさわしい充実した施設について再検討と、公約に掲げた具体的な構想について、これまでの経過を踏まえて、改めて汎用性を持たせた代替案をまとめていくという答弁ですが、ほかの議員からの同様の質問に、クリニックと商業施設、産後ケア、医療的ケア児への支援という市長の答弁が何度かありました。この点に関して、公約に掲げたからには、現時点で具体的に市民に示す案、バックキャスティングを示して、見直しなり中止なりの議論があつてしかりだと思います。

昨日ご答弁された4つの点では、漠然としていて市民には伝わりにくいと考えます。市長の描く駅北にふさわしい充実した施設とは、どのような施設があつて、どのような人たちがいて、10年後はどのような糸魚川を目指すのか、具体例を挙げてお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

お答えします。

バックキャスティングというのは、10年先を見据えたということでもありますから、その部分において言えば、非常に漠然としたものがそこにあると思います。そのバックキャスティングに到達するまでの部分の具体的なことが、私が言う4点をもってお伝えをしていきたいということでもあります。

ただ、バックキャスティングというと、実態だけではなくて、全体的に私がいうバックキャスティングというのは、10年後には人口3万人になるであろうというのがバックキャスティングであつて、そのいろんな局面においての部分、これからいろんな行政サイドの取り組み方とか、事業予算の組立てだとか、そういうものを踏まえてやらなければいけないことでもありますので、そういう部分の具体的な部分は、順次お示しするという形になろうかと思っています。

4点目の中にある部分においていえば、多機能面の本質的な再考という部分が1つ、これは子供の創造性を生かしたい。いわゆる子供が自らその場を活用して、こういうものがあればいい、こういうものがあると自分たちは使いやすい。それに対して、いわゆる市民参加型ということになりますので、いろんな事業者がそこに入ってきて、その子供の創造性の手助けをしていって作り上げていく。常設的なものではないかもしれないですけども、その都度、子供のニーズに合わせていくという考え方が、まず、私の汎用性のあるという形の整備計画になってくると思います。それにはやっぱり参加型まちづくりへの転換というのが必要になってくると思います。やっぱり与えられたもので、さあやりなさいじゃなくて、自分たちがやりたいことが、そこで創造的に使える場所にしていきたいということがあつて、さらに、その整備計画を具現化していくという形になろうかと思っています。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）



関原議員。

○5番（関原奈津美君）

行政は、現計画での建設中止を選挙における民意と捉えているようですが、久保田市長は、子育て支援複合施設の建設の賛否だけで当選されたのでしょうか。昨年度末まで建設を進めることが賛成多数で可決されてきた経緯があります。

また、改選で当選された市議会議員の中にも、さきの3月定例会で発議された見直し案を否決した議員が9人います。見直しを掲げて市長に就任されましたが、市長の権限だけで中止を進めてよいのでしょうか。計画の中止の賛否を、いま一度、議会に諮ってから進めるほうが丁寧だと考えますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

お答えします。

まず、いわゆる期限が決まっているという部分も、当然4月24日以降の部分で、私自身が、事務方サイドと色々な検討をして今に至っているという点であります。物理的な時間のかけ方というのは、現時点で、できるだけ短い期間で皆様にお示ししたいという思いがありますけども、やはりそれには慎重に、慎重に説明できる部分と、それから提示する部分と、しっかりと仕分をしながらやっていかなきゃいけないと感じておりますので、やっぱり物理的にかかる時間というのは、できるだけ最小限に抑えてきたつもりであります。そういう部分を、まず1つご理解をしていただきたいという点。

公約というのは、やはり糸魚川をこうしたいということの気持ちの表れでありますので、公約が全て、その一つの公約が全て受け入れられたという問題ではないと思います。それは、どの候補者の皆さんも一緒だと思うんですね。その公約の一つが、この子育て支援複合施設の問題であって、そのほかにもいろんなものがあって、それに対して私は、付託されたというふうな思いを持っていますので、その全体像の中で一つ、子育て支援施設を一つの一端として次の展開、まちづくりの展開、そして、人口3万人になっていく糸魚川のバックキャスティングを考えて、いろんな選択と集中、妥協点を見いだしていく、事業費の有効な使い方を見ていくということを行政が、一体となって進めるべきだと思っております。私自身の1人の思いだけでお伝えしているわけではないということをご理解していただければと思います。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

関原議員。

○5番（関原奈津美君）

施設設備に大幅な変更がある場合は、議会の議決はもちろん、子育て支援複合施設を望んでいる市民にも丁寧な説明が必要と考えます。公約を果たす意味でも対話を大切にされている市長自らが説明をするべきと考えますが、お考えはございますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

お答えします。

当然、その説明はあって当然だと思いますし、どういう機会を持ってその説明をすればいいのか。まず議会、そして、いろんな各地区の地区長とか区長さんの代表の方と面談をする。また、対話をする。そしてまた、もっと広範囲な部分で対話をしていくという順序を踏みたいと思います。そのためには、やっぱりできるだけ早急に私自身の仕事の計画、いろんなところに行かなきゃいけない部分を全部調整しなければいけない。その調整の中で、できるだけ早急に取り組みたい。今までの答弁で、秋という部分をお話しさせていただきましたけども、それ以前に、もう既に自分自身が動いて、話を聞いている場所もあるし、二重三重と話を聞かなきゃいけない場所もあると思います。

でもそれは、まず、議員の皆様が声を吸い取っていただいた部分をお伝えしていただいて、意見交換をするというのも一つの手だと思います。なので、4月早々、5月にかけて、議員の皆様とまず最初に意見交換をしたいという部分をお伝えして、皆様からそういうお話を伺いながら、次の展開を模索している最中だというふうにご理解ください。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

関原議員。

○5番（関原奈津美君）

では、（２）、（３）のまちづくりの新しい概念の縮充と対話について、再質問させていただきます。

こちらもほかの議員の質問や答弁で、縮充の言葉の意味と市長の思いは分かりました。お聞きしたいのは、具体的にどの事業の何を縮小し、何を充実していくかということです。人口減少とともに具体的に縮充を進めていかなければならない事業があると思いますが、市長の具体的なお考えはいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

お答えします。

前の答弁でもお話しさせていただきましたけれども、まず、私が市長になってからの非常に短い期間の中で、重点説明を行政サイドから受けました。その行政サイドから受けた説明については、令和7年度、規定の部分を説明を受けて、その中でいろんな取組をどうすればいいのか。やはり説明の中には、皆さん、縮充という言葉の意味を踏まえながら説明をしていただきました。その時点で、できることとできないこともあると思います。でも、できないことがあったとすれば、令和8年度予算に向けての事業構築、予算配分というのを考えなきゃいけない。まず、我々行政が動く

のは、まず、しっかりと担当課が、そういう部分の事象をきちっと捉えて説明をして、いろんな意見交換をしながら進めていくというのが、対話だと思います。庁内における対話だと思います。そういう部分からして、縮小せざるを得ないものもあるかもしれません。でも充実させていく上で、縮小していくものもあるかもしれません。その具体的な部分は、これからやっぱり検討していくということで、今時点でこれ、これ、これという部分には、まだ至ってないというのが現在です。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

関原議員。

○5番（関原奈津美君）

先ほどの駅北施設計画と併せて、縮充の観点から、糸魚川市が進めている立地適正化計画と居住誘導について、市長はどのようなお考えをお持ちですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

内山都市政策課長。〔都市政策課長 内山俊洋君登壇〕

○都市政策課長（内山俊洋君）

お答えいたします。

立地適正化計画については、人口減少社会において、減ってくる中でどういうふうに地域の社会を構築していくかというところで、糸魚川市、市域は広いわけであります。そういった中で、できるだけ人口が集約する形、コンパクトシティで経費の費用の部分もかからないような生活を目指していきましようというところで計画を立てているところではありますけども、いきなり移住を勧めるとか、そういうことではなくて、私どもとしましては、緩やかな居住誘導を進めるというところで今取り組んでいるところでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

関原議員。

○5番（関原奈津美君）

先ほどの子育て支援と併せて縮充の観点から、保育園民営化は、適正配置も同時に進めなければならないと思いますが、市長の考えはいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

昨日の阿部議員の一般質問でもお答えしておりますけれども、今現在、若干、民営化のほうは少し先行している部分はございますけれども、適正配置についても今後しっかりと進めていかなければならないと思っております。同時並行的にしっかりと進めてまいりたいと思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

関原議員。

○5番（関原奈津美君）

公約にある社会、地域、生活の質を充実させるまちづくりに必要なものは何とお考えですか、お聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

お答えします。

まず、社会、経済、そういう観点で言えば、まず、市民の暮らしがやっぱり豊かになる。それは金銭的に豊かになるんじゃなくて、やっぱり精神的な豊かさを求めるという部分になろうかと思います。そのために、まず、ゼロ歳から、ずっと糸魚川が関わっている教育は18歳まで、でも、そこで終わるのではなくて途切れのない部分から言えば、今度、働いている方々の世代、そしてその後、今度、年金をもらっていく世代、そしてそれ以降、後期高齢者という部分の世代までであると思います。その中で、その状況状況に合わせた、やっぱり福祉だとか教育、そして医療というものを丁寧にその状況を把握しながら、それに対して何が必要なのかという部分を、何らかの部分で配分をしていく。平等性と公平性という部分をきちっと見定めながら、平等がいいのか、公平がいいのかという部分も踏まえて対応していかなければいけないというふうに感じております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

関原議員。

○5番（関原奈津美君）

先ほどの整備計画の市民説明と併せて、地域にとって必要な施設を縮小、または廃止する議論は、市民との対話の中で一番デリケートに進めていかなければならないと考えますが、最初の答弁のあったように、市長自ら市民の中に入り、対話をすることが本当に可能でしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

お答えします。

基本的に私1人でできるものではなくて、庁内全体のそれぞれの係・課が、それぞれのところの分野を対応していく。まずそれが現場に出向くということになります。

それともう一つ大事なのは、議員の皆さんが、市民の皆さんから声を聞いていただいた部分を伝えていただきながら、その際にいろんな意見をそこにつけていただきたいんです。これについては、基本的には縮小方向で私自身が考えたいという部分も付け加えてお話をさせていただく中で、そうい

う部分で次に今度はその現場の状況を把握して、その状況で本当に今何が必要なのか、どういう対応が必要なのかという部分を丁寧にやっぱり検討して、実行していかなくちゃいけないというふうに思います。二代表制ですので、議員の皆さんのやっぱり吸い上げる声を伝えていただき、そして、それを基にいろんな展開をしていきたいというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

関原議員。

○5番（関原奈津美君）

市長のSNSに公務が激務と書いてありましたが、ぜひ市民との対話を少しでも多く交わしていただきたいと思います。

では、2つ目の質問、農業の課題について再質問させていただきます。

今回の米価高騰、物価の高騰、備蓄米の放出などの現状を受けて、糸魚川の市民生活に変化はあったとお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

星野農林水産課長。〔農林水産課長 星野剛正君登壇〕

○農林水産課長（星野剛正君）

お答えいたします。

食料品を含めます価格の高騰というのは、やはり市民の生活の中でやはり食品というのはどうしても落とせない部分になりますので、医療費ですとか生活費、また、子供たちの教育費ですか、そうした部分でやはり一定程度の節約ということで、市民の支出行動ですね、そうしたものには影響が出ているというふうには考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

関原議員。

○5番（関原奈津美君）

農業従事者から、今回の国政に対する声は届いていますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

農林水産課長。〔農林水産課長 星野剛正君登壇〕

○農林水産課長（星野剛正君）

お答えいたします。

今、米の価格につきましては、農林水産大臣交代以降、日々、変わっております。やはり価格につきましても、一定程度の価格のときにはやはり再生産ができるということで、農家の皆さんから喜びの声というのは聞いておりましたが、今現在、やはり価格が安定していないということで、今後どうなるかという、いわゆる来年以降の農業経営にどのような影響が出るかということの不安の

声というのは、一部やはり農家の皆さんから聞いております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

関原議員。

○5番（関原奈津美君）

米価高騰による国の動向を、糸魚川市の農業従事者を守る観点から、市長の生産意欲につながる取組が必要ということですが、生産意欲を向上させるために、現在行っている支援がありましたらお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

農林水産課長。〔農林水産課長 星野剛正君登壇〕

○農林水産課長（星野剛正君）

お答えいたします。

2年ほど前から肥料を含みます生産資材の価格の高騰、燃油の価格の高騰、人件費の高騰等、やはり農業を取り巻く状況というのは非常に厳しいものとなっております。糸魚川市といたしましても、生産基盤の整備、いわゆる圃場ですとか農道、用水路等の生産基盤の整備を市でも行っておりますし、国・県のほうへも要望いたしまして、作業の効率化に伴います生産コストの縮減によります経営所得の向上を目指す活動を行っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

関原議員。

○5番（関原奈津美君）

農業の持続的発展には、次期世代の担い手の確保と農業所得の向上を充実していくことが重要だと考えます。今回の備蓄米の放出という国の政策が進む中で、市長は、市内の農業従事者と直接お話しされる機会は持たれましたか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

お答えします。

私が行ける場所については、数か所、農業従事者の皆さんとお話をさせていただいたという事例はございます。具体的な部分を申し上げますので、数か所は行ってあります。

それとまた、自分自ら購入する場所もございますので、その購入先の農家の皆さんとの対話といえますか、お話は十分伺っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

関原議員。

○5番（関原奈津美君）

今回の米騒動により、より安い米を求める消費者と、これ以上、価格を下げては困ると訴える生産者が対照的となっています。おいしいお米が自慢の糸魚川市においても、国が出す政策に任せることなく市内の生産者と消費者の思いや不安に耳を傾け、どちらの生活も守ることが必要だと考えます。行政と議会が、共に現場に足を運んで、真摯の取組や支援が必要と考えますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

星野農林水産課長。〔農林水産課長 星野剛正君登壇〕

○農林水産課長（星野剛正君）

お答えいたします。

今ほど言われますように、やはり需要と供給のバランスというのは非常に重要だと思っております。特に生産者の皆様におかれましては、やはりこれからも糸魚川で農業を続けていただくという中で、関係機関でありますＪＡ等でも、糸魚川のお米につきましては、農薬５０％低減ということで、新潟県の特別栽培米というような形での付加価値をつけながら販売しております。そうした売れるお米づくりというものは、推進していきたいですし、いわゆる農家の苦労というものを消費者の皆様からも知っていただくというような取組も、今後、考えていきたいというふうには思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

関原議員。

○5番（関原奈津美君）

（２）について、イベントや農業体験を通して農業に対するイメージを高めることが、農業への興味や関心を深め、農業に対する職業観や地元農産物の購買行動を向上し、農業の振興につながるのではないかと考えます。農業を掛ける観光、農業掛ける教育、農業掛ける福祉、農業掛ける子育てなど、就農につながるヒントがたくさんありますが、糸魚川市で具体的な取組で成功しているものがありませんでしたら、お聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

星野農林水産課長。〔農林水産課長 星野剛正君登壇〕

○農林水産課長（星野剛正君）

糸魚川市におかれましては、各民間の法人さんのほうで農業体験ということで春の田植ツアー、また稲刈りツアーということで、それぞれ企業のほうでやっていただいております。市といたしましてもグリーンツーリズムという観点もございますが、聖学院の中学生の皆さんから糸魚川市へおいでいただきまして、農業のお手伝いということで４日間作業していただいているというケースもご

ございますし、棚田みらい応援団ということで、コロナ禍でできなかったんですが、令和5年度からは食料農業大学校の生徒さんもおいでいただきまして、田植、稲刈り、それと途中の用水の土砂上げですとか草刈り等をやっていただいております。そうした皆様は、やはり農業を初めて体験するという方々は糸魚川の農業というものに非常に興味を持っていただいて、また、米の購入ですとか、そういうところへも発展しておりますので、また、今年は特に子供たちの田植ということで新聞等でもいろいろ報道していただいておりますが、そういう形で、子供たちへの教育という部分にも力を入れながら、糸魚川農業の発展には努めてまいりたいというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

関原議員。

○5番（関原奈津美君）

農業の労働環境の改善、IT化が進む中で農業の実情を市民や子供たちに周知し、プラスのイメージを持ってもらおうと同時に、農業が継続しやすい環境整備に向けた国と県との連携が必要だと考えますが、市長のお考えをお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

お答えします。

まず、国や県という関係づくりは大事だと思いますし、先般も関西万博でお会いできました花角知事さんとも、そういう問題については意見交換をさせていただいております。特段、今回、県議会が始まりまして、花角知事さんのいろんな考え方もお示しされている中に、糸魚川市としての取組も同じように考えていければと思っております。

また、国・県とは別にして、今農林水産課長から答弁あったように、現時点で糸魚川に携わっている新潟食料農業大学という部分について、やっぱり協定の見直しをしながらやっぱりそういう学生たちが関わってくれるような、いわゆるファームの取扱いを今後検討するという事で、担当課には指示をして、現時点で当大学と意見交換をする手はずになっておりますので、そういう側面的な部分からも取組を強化していきたいと思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

関原議員。

○5番（関原奈津美君）

以上で、私の質問は終わります。

○議長（古畑浩一君）

以上で、関原議員の質問が終了いたしました。

関連質問はございますか。



〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

それでは、関連で質問させていただきます。

解体についてなんですけれども、この旧東北電力ビル、ちょっと遡るんですけれども、当初の概算で5,600万という数字がありました。それが増額したのが、9,800万に増額したんですけれども、その増額の理由というのが、その中に、ビルの中にどれぐらいアスベストがあるのかであったり、低濃度ポリ塩化ビフェニル、PCBというんでしょうかね、それが含まれているか、その処理があるかないかというので相当値段が変わってくるというところで、この倍近い金額が出てきた。それが出てきたのは何でかというのは、解体設計をしたから分かったというのが大前提にあると思います。

今回、旧宮田ビルについて、これから審査になるところだと思うんですけれども、旧宮田ビルについては、どのような積算根拠を持って、今金額を出しているのかというところを伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

宮田ビルにつきましては、詳細な設計業務はいたしておりませんが、今年度に入りまして、市内の業者から、また改めて見積り等を徴収する中で、担当課のほうで金額のほうを算出いたしまして、今回の補正予算のご提案とさせていただいているというものでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

旧宮田ビルに関しては、今までの答弁の中にも利活用を、お考えあったというところで、その解体の云々については、一切ほとんど議論がなかったというふうに認識しております。今ほど業者のほうで見積りを出したというようなお話あったんですが、旧宮田ビルの中にはどれぐらいの処理が必要なのかというのは、今不明な点なんではないでしょうか。それはもう業者が出したからという根拠なんではないでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

旧宮田ビルにつきましては、詳細な調査というのはしておりませんが、建物が建設された

年代、または現在の建物の状況から見て、アスベストは含まれているというふうに認識をして対応させていただいているところでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

今後、入札がうまくいって落札業者が出たとして、その解体工事に入ったときに、要は思ったよりもアスベストがとか、低濃度PCBか、があった、要は想定を超えた場合に、今2億5,000万という数字が、宮田ビルと東北電力ビルで2億5,000万という数字が出てるんですけども、今後、その新たな処理というのが出てきたときに、今の金額に補正する、補正して金額を支出するということはあるんでしょうか。前回あったのが、木浦公民館でございます。そのような事態は想定されるのか、されないのか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

今そちらの金額につきましては、市のほうでは今最大というところで見えておりまして、また今後、入札方式の変更等も含めて、業者の提案等も含める中で入札、落札されるような形でのものを検討していくということになると思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

入札の方式がどのようなかはまだ決まっていないというところなのかなと思いますが、そこについてお答えください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

昨年度、5回の入札を行った中で不調ということで来ているところも踏まえながら、また、入札方式は検討していきたいというふうに考えておりまして、また予算のほうがお認めいただいた後に入札選定委員会等にもかけて、入札方法等については再検討する中で、実際の入札に取りかかっていきたいというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

内山都市政策課長。〔都市政策課長 内山俊洋君登壇〕

○都市政策課長（内山俊洋君）

1点補足をさせていただきます。

私どものほうで見積りを取る際なんですけれども、アスベストの部分に関しましては、業者の方から現地を見ていただいた上でアスベストの量を、見積りをいただいております。基本的に、見積りを取る仕様書の中でアスベストはあるもの、先ほど答弁あったとおり、あるものとして見積りをしてくださいということで見積りをしていただいておりますので、アスベストの部分に関しては、新たに発見されたとか、そういった部分に関しても、業者さんが見た上で提案していただいておりますので、その部分に変更で見ないというふうに考えております。ですので、アスベストの部分に関していいますと、今の金額より上回ることはないのかなというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

猪又産業部長。〔産業部長 猪又悦朗君登壇〕

○産業部長（猪又悦朗君）

今、2人の課長が答弁しましたが、その点含めまして、補足であります。

入札方式の再検討ということで、昨年度、私、前任のときにお話をさせていただきました。その中では、ゼロベースというわけではなく、今回の見積り徴収に当たっても、やはり私どものほうで少し腹案として持っている入札方式というものがございます。その中で、しっかりとした見積りをもろうというような手続を進めておりますので、それを最終的に庁内として合意をするために、これから入札選定委員会等へ諮って、最終的な決定をしていくということで進めてまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

入札方式は、幾つぐらいあるかというのもちょっと把握していないんですけれども、これから、入札の方式についても検討というところなんですけれども、私さっきお聞きしたのは、補正で増額があり得るのか、あり得ないのか。今後、要はそれでは足りないということで増額で出てくることがあり得るのか、あり得ないのかということについてはお答えなかったもので、もう一度、お聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

猪又産業部長。〔産業部長 猪又悦朗君登壇〕

○産業部長（猪又悦朗君）

基本的な入札の方式としましては、制限付一般競争入札という形式で、多様な入札方式の中での選択ということになるかと思っております。その中で、競争が行われるということになっており

ますので、そうした場合に、請け差というものも生じることも考えられます。その中でですね、最終的に私どもの想定している、また、見積りで想定している量を超えた場合、当然のことながら不調ということになるわけでありますけども、そういった点につきましては、またその状況を見ながら、期日も迫っているわけでありますけども、そういった点を踏まえて、今回、見積りをもらった動きをしておりますので、しっかりと対応してまいりたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

今ほど部長のほうから不調という言葉があったんで、それについてなんですけれども、仮に今行政が、これからお示しする利活用案というか、要は新案ですよ。要は、今回は現計画を中止して、新たなものが多分9月議会に出てくるんだろうなというふうに推察してるんですけれども、仮にその案が、議会と、先になるか、令和7年の12月の申請にその案が、例えば国が認めて通ったとしても、その入札が仮に不調に続いていった場合に、その整備自体が延びると思うんですよ。要は、延びたときに、いつまでに整備しないと、要は最後の完了、竣工ですよ、竣工がいつまでに終わらないといけないというような規約というルールは、あるのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

国のほうへの交付金の計画年度としましては、令和4年度から令和9年度までの今6年間となっております。さらに1年間の繰越しというのが認められますので、令和10年度までが事業として最長に延ばせる期間、今の現計画での交付申請の中では、そこまでが最長期間というふうに考えております。

ですので、その中で、今の既存ビルの建物の解体工事、そして新たな計画地の利活用案の整備を終わらせるといったところで、今後進めてまいりたいというふうに考えておりますので、全てのそういった期限というのが、令和10年度末をめどにということになるかと思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

承知いたしました。じゃ、令和10年度以内に竣工させないと、この交付金にも影響があるってことなんですか。例えばビルを解体が、思ったより長引いた。例えば令和11年度に整備が終わって、要は4月ですよ、令和11年の4月に整備が終わってしまったという場合は、どんなもんなんですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

細かな部分については、実際の状況になって協議をしなければ分からない部分はございますけれども、一般的な考え方といたしまして、例えば今、議員おっしゃるように期間を超えて、事業が終わり切らなかったという場合につきましては、その事業の終了期間時点での出来高での交付申請というような形になろうかというふうに思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

ありがとうございます。

建設計画の変更について市長にちょっとお伺いしたいんですけれども、この現計画の中止について、私の一般質問の中でも法的には問題ないというところもいただいているんですけれども、果たして、本当に議会に諮る必要がないのかなというの、やっぱり今までの答弁であったり、やり取りを聞いてて思います。

先ほど市長からも二元代表制というお話もあった中で、今までのやっぱり議会、これまでもですけど、先ほど関原議員もおっしゃいましたが、9人が現計画で進めるべきだというようにところも考えていて、いまだに議会としては、建設、現計画での推進をしているというふうに私は認識しております。その二元代表制ということを重んじるのであれば、いま一度、法的に問題ないとしても、やっぱりいま一度、ここで丁寧に議会との意見交換であったり、協調を図っていくことが、これからの市政運営にもつながっていくんじゃないかなというふうにも思っているんですけれども、市長のお考えを改めて伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

お答えします。

まず、この選挙について、いろんな私自身の思い、それを公約にして、実際に4月24日からこの問題について取りかかってきたという部分、それが時間のないところで次の12月という部分という決着の部分がある中で、やっぱり事務方が、その部分できちっとその計画をしっかりと進める上で、いろんな手順を踏まなきゃいけないという部分があります。まず、それに私はのっとなって、しっかりと説明責任を果たしていくという部分、じゃ、いつどこでそういう説明責任をするのかという部分でおいえば、今回6月2日以降、また、それまでの段階で今いろんな部分で、庁内で交わされた説明、議論についてやって、6月に入って皆さんにお示しするという手順を今度踏むという、今日に至っているということで、まず理解をしていただきたい。そこまで迅速に進めるとい

う部分については、できるだけ努力をしたという部分で理解をしていただきたいという点が1点目です。

それと、やっぱり見直しという部分については、当然、今までの計画を全て無視するわけじゃなくてその思いだとか、その糸魚川に必要なものとか、そういうものをしっかりとやっぱり継続性を持った形を持っていく。先ほど関原議員にもお答えしたように、まずそのときの時勢、しっかりとした今、糸魚川の持っている課題がまた増えてきている中において、次なる展開をするべきであろうと。それを皆さんから理解していただいて、まず、解体、そして、その次の事業申請について了をいただく。そして、その市民の皆さんと市民参画型のまちづくりに資する子育て支援複合施設という観点にしっかりと乗せながら、具現化していくという手順を踏みたい。それについて、今回、皆さんと、いわゆる意見交換をして、またそれを議会に諮ってという部分はきちっと踏まえなければいけないと感じております。

ただ、時間の中で、今回いきなり感を持たしてしまったという部分については、おわびを申し上げますというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

先ほど関原議員も4つのポイント、市長の掲げた4つのポイントというのが今回の一般質問の中でも何度か出てきてるんですけども、その中でも、先ほども市民参加型のまちづくりというようなところあったんですけども、やっぱり市民参加型、私もそう思います。この人口3万人規模を見据えて、やっぱりこの一人一人が糸魚川をどうしていこうかという気持ちを、それこそ熱量を持って取り組んでいったときに本当に面白い糸魚川が見えてくるんじゃないかなというふうに思ってるんですけども。その市民参加型のところだけでも、市長の思い描く、こうなってったら市民が参加して、やっぱり今いろんな市民団体もおられますし、その中でも、みんなでやっていこうというところはあるんですけど、何ていうんでしょうかね、やっぱりその市民団体にすら参加しない地域の方もいるというのも、私、直面していて、市長が、要は何ていうんでしょうかね、市に携わっていくのがやっぱりちょっとおっくうだという人も中にはいて、それをどうにかして打破して、一緒になって進めていってほしいという思いはあるんですけど、それをどうやったら現実に行えるんだろうというところも私も悩みどころであって、市長はどうやって進めていくことが市民参加型につながっていくというふうにお考えか、そこをぜひしゃべれるところまでいいんで、お考えをお示しただけたらと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

お答えします。

阿部議員の非常に熱い思いというのは、そこにある、私と同じ熱い思いがそこにあると思います。

市民参加型、それは市民、仮に3万人とすれば、3万人が全てそこに参加できるのではないと思います。その3万人の中においても、その場に行けない人もいるし、いろんな部分で一人一人の生活環境が違うわけですので、その場所に全てがという集約ではないと思います。それがあることによって、参加する人たちがそこに行く。それを昨日の加藤議員のところで言った、活動人口を増やしていく。活動人口が増えていけば、その広がり、輪が大きくなっていく。その輪の中に飛び込んでいく市民が多くなっていくというのが理想形だと思うんです。その理想形の中において、一人で千歩じゃなくて1,000人が一歩、その一歩を踏み出せることが、市民の皆さん一人一人、何なんでしょうかとこの部分の問いかけをする。それも一つの対話だと思うんです。皆さん一歩、お願いしたいという思いを持ってお伝えしていく。それが我々の責任だし、また、皆さんもそれに協力していただくということで糸魚川市民全体の輪が、10年後、3万人になったとしても充実するような姿になってくるんじゃないかと。非常にざっくりした言い方なんですけど、今現在、私が思いを持ってる部分はそこで、それを具現化していくという部分については非常に苦労している事務方の姿も見えています。でもそれをやらないと、次の糸魚川はないんだという強い思いは、私自身あるということでご理解をしていただければと思います。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

ありがとうございます。

ちょっと話戻るんですけども、その汎用性のある場所に再整備、再整備というか計画変更というところで、整備案というのを9月議会に示して、タウンミーティングに10月、11月に出かける。12月に最終議決をもって国に申請というようなスケジュールなんではないでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

スケジュール感としては、議員おっしゃったとおりかと思っております。

ただ、これにつきましては、特に議案として上げる部分というところが出てくるかというのと、決してそういう部分ではないというふうに思っておりますので、また所管の常任委員会ですとかにお示ししながら、議会のほうからもご意見をいただき、国のほうへの変更申請という流れになっていくのではないかなというふうに思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

じゃ、ちょっとあれだな、その１２月議会で最終的な議決をもって国に申請に行くというふうに理解してたんですけど、そうではないってことですかね。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

特に議案としてご提案するようなものとはならないということでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○１３番（阿部裕和君）

じゃ、あくまで、要は市と今、県と協議してるというお話でしたけど、国の申請さえ通れば問題ないということなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

変更後の計画地の利活用案については、十分に議会のほうにも、またご説明をした上でご理解いただき、その上で、国のほうに変更の申請をしていくというような流れになっていくというふうには思っております。

以上です。

〔「議長、休憩お願いします」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

暫時休憩いたします。

〈午後２時１２分 休憩〉

〈午後２時１３分 開議〉

○議長（古畑浩一君）

休憩を解き、会議を再開いたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）



お答えいたします。

先ほど私、12月議会で特段議決の部分はございませんということでお話をいたしました。実際に、今後、計画地での汎用性のある利活用案等を定めていく中で、そちらの整備に伴う予算としての議決は、議会のほうにお願いしていくことになろうかと思っております。それについては、今年度中の補正予算となる場合もあるかもしれませんが、また、令和8年度当初予算でというようなことになるかもしれませんが、そういったところで議会の議決はいただくことになるかと思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

計画変更についてなんですけれども、今、県とは協議されているということで、県は承知しているのかなというふうに思っているんですけれども、国への説明というのは、12月の申請時に説明するのか、要は説明なく、ただただ計画が変更になりましたで持っていくような形になるのか。

今、国への申請は通るというふうに見越して、通る前提でお話をされてるなというふうに受け止めているんですけれども、現段階で国に説明がないまま、糸魚川市は、要はあれだけの施設をやろうという国からの補助もある程度認められてたものが変更になるというのは、本当に、これほどまで大きい変更を、国はすっと認めるというか、受け入れるのかなというふうにちょっと思うんですけれども、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

国の交付金の関係の変更申請につきましては、軽微な等も含めて、毎年行われているところでございまして、今回、変更があるから特段、特別に行われるというものではないというふうに認識しております。昨年度も、1年間延ばすといったところの部分の変更も含めて事前に協議をさせていただいて、変更を認めていただいたというところでございます。

今回、県のほうには既にお話はさせていただいておりますけれども、今回のもともとの計画の目的であります子育て環境の充実、満足度の向上といったところの基本的な評価方針をぶらさないような形で、汎用性のある利活用案というのを検討していく中においては、国のほうの申請が通るところを私どもとしては想定しておりますので、そういった形に沿うような形での利活用案を今後しっかりと検討していきたいというところでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

子育ての満足度が上がるという、そこからぶれなければ申請は通るというふうに受け止めました。

あと今回のように行政側の、ある種行政側の都合ですよね、行政側の都合で一方的に計画を破棄、解約するということは、したことは、前例として何かありますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

ちょっと私のほうでは、過去の事例といったところでは承知しておりませんので、お答えできません。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

ありがとうございました。

関連質問、関原議員の関連質問を終わります。

○議長（古畑浩一君）

阿部議員の関連質問が終了いたしました。

ほかに関連質問はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

関連質問なしと認めます。

以上で、関原議員の一般質問を終了いたします。

午後2時30分まで暫時休憩いたします。

〈午後2時17分 休憩〉

〈午後2時30分 開議〉

○議長（古畑浩一君）

休憩を解き、会議を再開いたします。

次に、田原 実議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原 実議員。〔15番 田原 実君登壇〕

○15番（田原 実君）